

2021年5月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時 2021年5月8日(土) 10:00~17:00
2. 開催場所 Teamsを用いてのリモート(オンライン)

3. 会員参加者<敬称略>S: オンサイト出席・L: オンライン出席、欠: 欠席、書: 書記、休: 休会

大見	L	牧野	L	横尾	欠	山中	L	小峰	L	杉浦	L	城越	L	合田	L
舟山	L	伊藤	L	出島	書	福田	L	水田	欠	山口展	L	黒田	欠	鈴木	L
古谷	欠	三浦	L	池田	L	岡本専務	L								
小西	休	中山	休	山口	休	庄内	休	李	休	河合	休	則尾	休		

4. 研究会内容

1) 輪講: ロバスト設計のための機能性評価 第16章 (舟山)

・16章では品質工学の波への適用の方法について紹介されている。
・品質工学を波に適用する場合、波の成分を分けて考え、振幅ではなく、振動数にてロバスト性を確保する必要性とその方法が述べられている。
・瞬時値でのデータどりが可能ならば波の1周期のみを対象としロバスト性を確保することが理想である。このような考え方は今後測定技術の発展と共に品質工学の中心的手法になることが期待されると述べられている。

2) AI vs MT (池田)

AIコンペに、MT法、RT法、誤圧法、SVM、ニューラルネットワークを用いて応募した結果を紹介。今回は各手法を単純に適用した状態で応募を行ったが、コンペの結果から各手法とも精度を高めるための工夫の余地が大きい事が認識できた。また研究会メンバーより、比率の計算をする際、再現性を高めるための工夫(オメガ変換)の助言を頂いた。

3) 実験計画法の疑問 (鈴木)

実験計画法における解析手順(分散分析やプーリング)における質問者の疑問について会員に質問した。公開されている解析手順は様々な手法があり、それぞれの論理的な意味合いの疑問や実践場面での使用について会員に意見を聞いた。統計経験者の深い考えを聞くことができ、質問者が知見を深めるのに役立った。

4) オーガナイズドセッション内容検討 (合田)

- ・品質工学研究発表大会(6/24,25)にて当研究会はオーガナイズドセッションに参加する。
司会(正): 大見さん、司会(副)牧野さん、セッション・研究会紹介: 合田、事例発表①: 山中さん、事例発表②: 小峰さん
- ・セッション・研究会紹介と事例発表①及び②について、パワーポイント資料で発表し、発表内容、様式、想定質問など、研究会メンバーの皆さんから意見・アドバイスをいただいた。

5) 品質工学活用シート事例再構築 (舟山)

私が所属する(有)アイテックインターナショナルの講師がコンサルタントとして品質工学のテーマ解決を行う際にテーマをまとめるために活用している品質工学活用シートの構成の紹介と実施例の紹介を実施した。テーマ相談を行うにあたり、本シートを埋める、または本シートのポイントを抑えることによって、品質工学の手順の抜け漏れがなくなるだけでなく、そもそものテーマの目的や必要性、目標がはっきりするため、アドバイスもよりスムーズになり、成果出しまで導かれることになり、研究会の活動の助力となると期待している。

6) 事務局連絡

(1)6月のテーマ予定

山口さん：Slack手ほどき・・・会員間活用方法

古谷さん・大見さん：流体シミュレーション

杉浦さん：

牧野さん：波形解析ソフト：アングルトライ紹介

(2)6月に正式会計報告（伊藤社長）

(3)NASサーバーをどうするか？

現状では接続不安定の場合がある。

新たに買いなおす？ クラウド？ 見積もり中（伊藤社長）

再度インストール方法配信（福田：5月8日済）

(4)講演会招聘候補

①伸さん（日本と海外の研究プロジェクトの違い）

②手島先生（地震予測）

③越水先生（浜松研究会幹事？）MT、TREZ、舟山さんつて

永田先生（早稲田大学）製造業においてQEと統計学をどのように使い分けるか。

猪原正守先生（電通大）統計学

宮川先生（東工大）統計学、内容が難しそう？

池田さん誰かいないか？・・・ワーキングのリーダーの方、1チーム、3チーム

中野講師（シミュレーション）

太田さん（シックスシグマ）

(5)対外関係

①関西・・・合同研究会8/6 ⇒1件

②シンポジウム10/8 ⇒必須ではない

③必須：中品協主催：業務改善事例発表大会10/7 ⇒6月研究会で決める必要あり。

以 上